

社の伝言板

ゆるるる

特集 復興への 道

セミナー報告
「被災地で考える
～要援護者支援の課題と展望～」

●地域支え合い活動・情報交流センター

石巻の今に届けたい

●NPO法人いしのまき環境ネット



▲ NPO法人エーキューブ

浦戸諸島で
ボランティア派遣と高齢者支援

●NPO法人浦戸福祉会

人と動物の共生をめざして

●NPO法人エーキューブ

すべての子どもに遊びを!

●西公園プレーパークの会



▲ 西公園プレーパークの会

●みやぎNPOブラザ

NPOのうまい会議の進め方
ファシリテーショングラフィックのポイント



セ三十一報告

「被災地で考える
～要援護者支援の課題と展望～」

地域支え合い活動・情報交流センター

▼あがらいんが皆のよりどころ



東日本大震災から一年。ほとんど被災者は、被災以前と同じ住まい、仮設住宅、民間賃貸住宅での「みなし仮設住宅」などのいずれかに住居を移しました。大震災により、土地の確保が困難なために仮設住宅は離れた場所に設置され、震災前に住んでいた隣近所や地域とのつながりが断ち切られて、それぞれの居住区で孤立を招いている現実があります。同様に、被災前と同じ住まいにいる被災者も、周辺の激変や近隣者の喪失など、地域や暮らしに課題を抱えています。

重要なのは、被災者が孤立しないつながりづくりと、そのつながりの中での個人の立ち上がり（生活再建）を支援することです。過去の震災でも、孤独死がたびたびニュースになりましたが、被災者にとって「すまい」や「仕事」はもちろん、人と人とのつながりは大きな意味をもちます。現在、仮設住宅では自治会が組織さ

れ始め、孤独・孤立防止のためのアイデアが膨らみつつあり、まちの再建計画を市民レベルで考える取り組みも少しずつ始まっています。

宮城県内の被災地の市町では、被災者の生活を支援するために、次のような各種支援員を設置して、戸別訪問や相談事業などを行っていません。支援員の多くも被災者であり、「宮城県サポートセンター支援事務所」が関係機関と協働して、これら支援員対象の研修会を開くなどサポートしています。

・市町のサポートセンターに配置されるライフサポートアドバイザー（LSA・生活援助員など）
・市町社会福祉協議会に配置される生活支援相談員、復興支援コーディネーター
・仮設住宅団地生活相談員など（南三陸町）
・地域復興支援員（東松島市、南三陸町）
・訪問支援員など（石巻市）
・絆支援員（仙台市）

また、弁護士や行政書士、社会福祉士などが仮設住宅に向かい、相談会を開いたり、市町ごとに担当の弁護士が相談にあたる体制づくりも進んでいます。

前述のほかにも、全国からNPOやNGOが支援に名乗りを上げ、被災者の安否確認やニーズ調査を個別に実施しており、同じ支援をする側として横の連携や情報交換をしようと、連絡協議会を発足させた市町もありません。しかしながら、情報交流はまだまだ盛んではなく、現場で個々に奮戦する支援者へのフォロー

アップも大きな課題となっています。

宮城県—サポートセンターの取り組み

そのよ

うな中、二

〇一二年

二月十日

に宮城県

気仙沼市

で「被災地

で考える

く要援護

者支援の

課題と展

望」が

NPO法

人全国コ

ミュニ

ティライ

フサポー

トセンターと日本福祉大学災害ボラ

ンティアセン

ターの主催で開催され

ました。プログラムは二部構成で、四

十名ほどの参加がありました。

第一部では、岩手県・宮城県の取り

組みについて、現場支援者のお二方

から報告がありました。

宮城県サポートセンター支援事務

所所長の鈴木守幸さんは、市町村ごと

に仮設住宅に併設されているサポー

トセンターについて紹介。サポートセ

ンターは、仮設住宅などに暮らす要援

護者などを支援するために市町村ご

とに設置され、それらを県サポートセ

ンター支援事務所が関係機関

からの協力、連携を得て支援し



▲報告会の様子

▼ AMDA 大船・健康サポートセンター



生活支援相談員とは別の役割を担うこと
によって、生活支援相談員や保健師が、みなし仮設の方まで目が行き届く余裕が生まれたのだとおっしゃっていました。

ています。仮設住宅後を意識して、地域での生活再建や自立に向けた支援の継続が求められており、仮設住宅から復興住宅に移行しても支援は続きます。「サポートセンター」の役割が終わっても、センターでの支援の精神は続くものになってほしい。社会福祉士など専門性のある人たちがそれぞれの専門性を活かして、手の届くような支援をしたいと鈴木さんは語っていました。

岩手県からは、「さくらネット」代表の石井布紀子さんが報告に立ち、サポート拠点を地域ケア拠点に「という思いから、サポート拠点重視ではなく、談話室中心の取り組みを行っている」と紹介。社会福祉協議会職員のみが生活支援相談員として配置されたため、ボランティアセンターと連携しやすく、関連機関連絡会が積極的に行われている、とお話がありました。また、一関市など内陸の地域でも、沿岸部で復旧作業する方々の宿泊拠点になり、コールセンターの設置、大船渡市の住民を北上市で緊急雇用する、といった取り組みをしています。生活支援相談員とは別の役割を担うこと

地域のネットワーク
づくりの拠点に

第二部では「それぞれの支援活動から学ぶ」と題して、日本福祉大学教授の平野隆之さんのコーディネートのもと、岩手県と宮城県で活動している5団体から発表がありました。目を引いたのは、行政としての岩手県一関市の取り組みと、民間施設2団体の奮闘です。

岩手県一関市保健福祉部福祉総務係長の岩淵良憲さんは、沿岸部への後方支援について発表されました。市内の応急仮設住宅や民間賃貸住宅等には陸前高田市、気仙沼市、大船渡市からの避難者が暮らしており、同じ出身の方が集まれるように出身地域ごとの「お茶っこの会」を開いているというお話がありました。現在住んでいる仮設住宅での交流だけではなく、元住んでいた地域ごとのお茶のみ会は、再会を喜び、希望をもてる機会になるだろうと感じました。

医療支援団体AMDAの元持幸子さんは、岩手県大槌町に昨年未立ち上げた「AMDA(アムダ)大槌・健康サポートセンター」について発表。「鍼灸院」と「地域のコミュニティサロン(交流を目的とした多目的室)」から成る民間の拠点です。「センターからのまじまじのり、きゅっけづくり」が目的であり、「地域の人が自分で企画し、主役になること」をお手伝いするという姿勢で活動が行われています。センターのブログ(<http://amdensapo.blog.fc2.com/>)では、「方言カルタ大会」AMDA高校生会バレンタインイベント」な

▼ 方言カルタ大会



どの楽しそうな様子を発信。地域の方がそこに来て何かを得て帰るといふ「地域還元」ができる場所、地域のネットワークづくりの拠点になればというお話が印象的でした。

また、宮城県石巻市福祉仮設住宅「石巻、開成のより処あがらいいん」の管理者 橋本泰典さんは、石巻市の開成仮設団地内に昨年末に設置された「制度外ケア付き仮設住宅」について発表。職員が二十四時間常駐し、支援者の支援(仮設住宅を見守るチームの休憩所)、配食による食事支援などが行われています。震災に伴う環境の変化によって心身の調子を崩す方が出てくること、考えられるため、軽度の認知症のある方やアルコール依存傾向のある方などの一時避難先としての利用が想定されています。「あがらいいん」は仙台市青葉区の三代田・国見のより処ひなたほっこりの取り組みを参考に、現行制度では対応しにくい場面、制度化が生む隙間で問題を抱えている方の居場所になるよう、NPO法人全国コミュニティライフサポートセンターが運営を受託し、取り組んでいます。

震災後、避難所生活や仮設住宅暮らしを経る中で、それまで内在していた

DVや高齢者虐待などの家庭内課題が表面化し、SOSを発する家庭からの深刻な相談が増えたと聞きます。しかしながら震災にかかわらず、地域には支援を求める多様な背景の方々が住んでいます。このような制度外の支援拠点が広く増えていくことを期待します。

宮城県と岩手県での県境でのお互いの震災支援の様子を情報交換しようというのが、セミナー開催のもう一つの目的でしたが、参加者の多くが支援員やNPO、NGOの方々だったこともあり、会場では名刺交換をする姿も見受けられました。参加者がメモを取りながら熱心に、耳を傾けていたのが印象的でした。三月には、同様に宮城県と福島県の震災支援の取り組みを共有するセミナーが予定されています。

なお、宮城県では、被災地の十三市町で支援体制についてのヒアリング調査を昨年十一月から二月にかけて実施しており、それをもとに来年度、現場の最前線での活動する支援員をよりよくサポートできるように、支援員の研修内容の見直しや、バックアップ体制づくりが協議されています。

●「地域支え合い活動・情報交流センター」は、住民主体の活動の情報収集・発信、コミュニティづくり、地域交流をめざして、東日本大震災・共同支援ネットワーク及びNPO法人全国コミュニティライフサポートセンターが立ち上げました。現在、ホームページを準備中。

お問い合わせは、
TEL:022-301-8820まで。

石巻の今に 応えたい

● NPO 法人 いしのまき環境ネット



▲ 事務局長の川村久美さん

「石巻から元
気な地球を次
世代の子ども
たちへ」をテー
マに、植林や森
作りなどの森
林保護活動、市
民農園、味噌作り、漁業体験などを通し
た地域文化とつながりの再発見、教育
機関での環境教育等を継続的に行って
いた、NPO 法人 いしのまき環境ネッ
ト。これからの新たな事業計画を考え
ていた矢先、三月十一日に東日本大震
災が起こりました。

発災後の三月十二日、幸い津波被害
のなかった、いしのまき環境ネットの
事務局長川村久美さんの自宅に、メン
バーや会員さんが次々と集まってきま
した。危険な状態が続く中、安否を知ら
せてくれた地元のみなさんの人と人の
つながりを感じ、被災した皆さんのた
めに何かできないか、という気持ちに
なりました。

自分たちも被災者であり、日々の生
活も混乱しているなか、理事やスタッ
フが集まることでできたのは四月に
入ってからでした。「今できる人たちが
今できる支援活動をする」という今後
の大まかな方向性を決定しました。



▲ サロンでの「そうり組み」

まずは以前からつながりのあった他
県の NPO から連絡があり、地元の団体
だからこそできる人的ネットワークを
生かし、他県の団体と地元団体をつなく
調整役になりました。そして四月から
この二団体とともに物資支援を開始。石
巻の避難所や在宅避難の方々に、緊急物
資を届けました。また五、六月は、地元住
民やボランティアから「温かいものが食
べられていない」という声があり、「つ

ながる炊き出し隊」として、避難所を中
心に回り始めました。八月までに十三か
所で計二十二回、野菜と物資の配達は十
九か所八回にも及びます。

気温の上昇に伴ってからは炊き出し
が難しい、と判断。炊き出し弁当と名付
け、被災者に持参しました。

活動を見極めながら

八月からは、支援の行き届いていな
い在宅避難者への支援を開始しまし
た。集まる場がないという声から、大
街道南地区と浦屋敷地区で住宅を借
りあげ、食事会や「おちゃっこ」、手工
芸ができる場を県外の NPO、NGO
と協働で設けました。十月、十一月を
ピークに多くの方々を訪れていただ
けでした。生活環境が少しずつ落ち着
くにつれ、二月からは地元の方から要
望がある時に開催する形式に変えて
いきました。

九月になって仮設住宅が完成し、
徐々に転居がはじまるに連れ、炊き出
しで知り合った避難所の人々とのつな
がりを活かしたい、と感じるようにな
りました。そこで、転居先の仮設住宅を
訪問し、今必要としている支援を聞き
とり、それに合わせての活動が始まり
ました。主に二人のスタッフとボラン
ティアさんが一体となり、収納スペー
スが少なくないという声を受け、独自で棚
や洋服掛けのポールなどを設置するほ
か、玄関脇には靴箱など、収納改善プロ
ジェクトを行っています。「仮設の方々
が温かく受け入れて下さるのは、避難
所からの繋がりを大切にしているから
なのかなと思います」と川村さん。



▲ 収納改善プロジェクトで
完成した棚と洋服掛けの
ポール

震災から一年経って

支援を継続して行っていくなかで、仮設
住宅内、在宅避難地域内で共通の課題が見
えてきましたそれは、「どんな事を必要
としているかを自ら発信してくれる人
は、具体的に提供することができませんが、
声を寄せられない方に対しての支援です。
」声を出せない方は、ますます孤立してし
まうのではないかと考えています。人と
人のつながりの大切さを震災で痛感した
からこそ、支援から漏れてしまう方の支援
をどうしていくか。今後の大きなポイント
です」と川村さんは話しています。

震災から、今月で一年。自らも被災者で
あっても、地
元石巻のた
めに活動を
続けてきた、
いしのまき
環境ネット
の皆さん。今
後も、じっと
被災者の声
を聞き、支援
しながら復
興に向かっ
て活動をし
ていきます。

NPO 法人 いしのまき環境ネット

【郵便物宛先】
〒986-0832
石巻市泉町3丁目1-63
(特活)いしのまきNPOセンター内
● TEL/090-2992-7451
● URL <http://www.i-net.or.jp/>

浦戸諸島で

ボランティア派遣と高齢者支援

● NPO法人浦戸福祉会

日本三景の松島湾に位置する浦戸諸島は、桂島、野々島、寒風沢島、朴島からなっており、約二六〇世帯、人口六〇〇人が住む、カキや海苔の養殖で有名な諸島です。しかし、東日本大震災の影響により、計二二〇戸が全壊や流出するという大きな被害に遭いました。そんな中、桂島で活動するNPO法人浦戸福祉会は、震災直後から復興支援活動を続けています。

浦戸福祉会は二〇〇四年に法人格を取得し、震災前までは、観光ガイドや高齢者の介護予防の為に、月に一回程度、浦戸諸島の高齢者の集まりを設けて、お茶会や食事会、健康チェックやゲームなどを行っていました。

● 島民とボランティアのマッチング

三月十一日の震災時、浦戸福祉会の代表理事をしている中井豊さんは多賀城市におり、なんとか津波から逃げて難を逃れました。その後、浦戸諸島の救援に乗り出



▲代表の中井豊さん



▲桂島にある事務所とボランティアセンター

すため、いろいろな方面へ問合せて支援の準備をし、塩釜市のマリンゲートに自衛隊が入っていたこともあり、緊急時の食料などはありました。そこで、塩釜市や自衛隊では力パーしきれない島民のニーズを拾い、物資を集め支援してきました。

「避難所で一緒に生活していく中で、島民とも心が通い、より細かいニーズを拾うことができました。そこから様々なコーディネートをするようになりました。」と中井さん。ライフラインの復旧が遅かったこともあり、週に一

度しかお風呂に入れない島民のために、避難所の外に風呂釜を用意して、お風呂を提供しました。そういった島民のニーズに応えるためには、人手が必要ですが、浦戸諸島にはボランティアセンターがなく、ボランティアの派遣もありませんでした。そこで、五月から浦戸福祉会で「うらとボランティアセンター」を立ち上げました。そこから、塩釜災害ボランティアセンターと協力し、島民とボランティアのマッチングを行い、これまでに六千人以上のボランティアをコーディネートしてきました。

「支援活動をしていく中で、繋がりが徐々に広がり、様々な団体からボランティアや物資の支援など多くの協力をいただいています。」と中井さん。がれきの撤去や炊き出し、物資の支援などのニーズがひと段落した現在は、「観光の島」づくりのボランティアもしています。「県外からのボランティアさんは、次は畑作業などをすると、成長を見たい、観光で島を訪れてくれます。」と中井さんは言います。協力している山形大学は、震災直初から浦戸福祉会と連携し、ボランティアの派遣を続け、現在も定期的に浦戸諸島の観光に役立つ畑作業等のボランティアを派遣し、観光ツアーも実施、仮設住宅でのイベントも開催しています。

● 高齢者福祉の充実で復興を

浦戸福祉会では今後、島民からの要望を聞き入れて配食サービスや移動販売などを検討しています。また、助成金等の支援を受けて、浦戸諸島の四島に

▼浦戸諸島での情報共有会議



し、中井さん自ら船舶免許も取得しました。また来年度からは塩釜市で在宅介護事業を開始します。浦戸諸島については、自分、四島にまたがって見回りの訪問や店舗づくりを行い、ゆくゆくは在宅介護事業としても本格的に行っていく予定です。

浦戸福祉会は、元々浦戸諸島の観光のまちづくりの推進や自然環境の保持、高齢者への在宅支援などの活動を続けて八年。震災後に更に高齢者ケアの必要性が増し、福祉サービスの充実に向けて大きく踏み出すことができました。浦戸福祉会は今後も、地元NPOならではの復興への道を進んでいきます。

NPO法人浦戸福祉会

〒985-0192
宮城県塩釜市浦戸柱島字庵寺34番地
●TEL・FAX/022-355-2677
●E-mail urato@gaku-com.jp

またがる高齢者サービス事業を行う予定です。四島での事業展開は、市営汽船の定期便の利用では難しいところでしたが、現在は塩釜市内に法人の拠点を設け、船も購入

人と動物の共生を
めざして

NPO法人エーキューブ



▲理事長の佐々木ひとみさん

事業運営に携わり、命名の願いのもと健康に多角的な分野での活動を行っています。

NPO法人エーキューブは、二〇〇一年九月に行われた仙台市動物管理センター主催の「動物介在活動ボランティア」養成講座を受講第一期生が中心となり活動を開始し、翌年二月に任意団体として発足、二〇〇六年にはNPO法人となりました。団体名の「エーキューブ(A-Cube)」は、動物介在活動(Animal Assisted Activity)を略して、Aが二つではなくサイ「O」のように様々な活動に展開していきたいという願いを込め、A3(キューブ)となりました。

現在まで、高齢者施設や病院・知的障がい者施設での動物介在活動を中心に、リハビリ等の為に動物が介在した補助療法としての動物介在療法や、小学校や児童館へ犬と一緒に訪問し、子どもたちに正しい動物とのふれあい方や命の大切さを学んでもらう動物介在教育などの活動、不登校・引きこもりの青少年に対し、動物を介した「みる」の支援活動を展開しています。また、動物の防災及び被災動物の救護に関わる事業としてペットの防災とペット同行避難の啓発などにも取り組んできました。そして、仙台市動物管理センターの譲渡事業に協力し、動物愛護の啓

震災後まず行ったことは、約百名いる会員の安否確認でした。幸いな事に全会員の無事がわかり、各会員が自分たちでできる事をしようと思いはじめました。仙台市動物管理センターに保護された動物の世話や、ペットを探している飼い主がらの連絡対応をしたり、怪我や衰弱している犬や猫の通報に対する救護活動もしました。「子猫が取り残されて動けなくなっている」という連絡を受け、今にも消えそうな命を救った事もありました。

この活動と並行して、各会員の住んでいる地域の避難所などの同行避難の状況調査を開始。調査を進めるにつれ、同行避難者の厳しい実情やフードやペット用品が手に入らないなど様々な問題もわかってきたことから、発災一週間後の三月十八日から、開院している動物病院やペット用品が手に入る店の情報などをブログで発信し始めました。その発信で、全国から物資が届き始めました。早く、そしてより多くの人に物資を届けたい」という思いで「チラシ」を手作りし、避難所や様々な施設で掲示や配布をして困りごと

相談窓口を明確に伝えることにした結果、連絡が続々と入り始めました。ガソリン不足の問題には、まとめて送ったり、ついでにお願いしたりと会員の創意工夫で対応しました。ある時、気仙沼の大島で三十頭の犬が孤立し困っていると市民活動サポートセンターから情報が入り、「何とかしなければ」と理事の千葉浩二さんが支援物資を山ほど積み車を走らせました。この時、多くの団体の協力を得て大島への船を捜すことが出来、個々の皆さんにや々と物資を運ぶことが出来ました。助け合うネットワークを強く感じる活動でした。この様なことを経ながら、エーキューブの活動は宮城県内全域へと広がっていきました。

仮設住宅と心の支援

被災者が避難所でペットと一緒に暮らせるように、そして仮設住宅にも引き継がれるようにと、署名活動を行いました。迷惑をかけないよう車で生活している家族ヘテントを調達したりして、環境整備を進めました。

震災後に仙台市で保護された犬や猫は十二月末まで千匹以上と言われています。飼い主が見つからない犬や猫のため、震災前は二月月に一回だった譲渡会を月一回(現在まで八回)開催し、多くの犬や猫が新しい飼い主に巡り合う事が出来



▲大島物資



▲避難所で優犬と

ています。仙台市では、ペット同行避難を啓発しています。エーキューブは、発足当初から同行避難の普及に努め、H十八年には「ペットと一緒に避難するため」という冊子を作成し、啓発に取り組んできました。今回の経験から、ペットが避難所で多くの人と共に生活を営むためには、日頃から共同生活を想定した練習をするという飼い主の意識改善の必要性を再確認しました。

副理事長の佐々木ひとみさんは、「人は、犬や猫と触れ合うことで自然と優しい気持ちになり、ゆったりとした時間を過ごすことができるのです。発足から十周年を迎えた昨年は、東日本大震災という大変辛い経験をした年となりました。しかし、私達はエーキューブの理念の真、これからも仮設住宅や被災した子どもがいる学校や児童館などで、動物と触れ合う事で震災で受けた心の傷を癒す活動や、日常生活を取り戻すお手伝いなど心の支援をしていきたいと思っています。」と話していました。

NPO法人エーキューブ
 〒983-0034
 ●仙台市宮城野区扇町6-3-3
 ●TEL/080-5224-6758
 ●URL <http://www.a-cube-sendai.com/>

すべての子どもに遊びを！

西公園プレーパークの会

「寄稿」副代表理事 佐々木健二
プレーリーダー 佐々木啓子



▲佐々木啓子さん

冒険遊び場（プレーパーク）は一九四三年にデンマークで始まり、一九七五年に東京に住むご夫婦の手で国内に伝わりました。運営は親の会や、行政によるものなど様々ですが、現在三二二団体（平成二十四年二月）が活動、日本各地で子どもが思い切り遊べる場づくりを行っています。

私たち西公園プレーパークの会は、仙台駅から車で五分ほどにある西公園で「西公園プレーパーク」を開催しています。支えているのは、地域に住む親・社会人・学生などのさまざまな立場の大人たち。「自分にやれること」を見つけて主体的に関わっています。

子どもたちが「いつでも、誰でも、やってみるに挑戦できる遊び場づくり」を平成十五年から始め、平成十七年度以降は年間二百日開催を目標にして活動を続けています。子どもの遊び居場所づくりを中心としながら、地域や人とつながって来ました。

四月十日
プレーパーク再開

大地震があった三月十一日はプレー

▼亀が森公園でバームクーヘン作り



は「西公園プレーパーク」を開催と同時に落ち葉掃きなどの「西公園杜の応援団事業」も再開しました。いつも遊んでい

パークの開催日ではなく、私たちはそれぞれのお家や職場などで地震にありました。電気もガスも水道も出ない、なかには避難所や車のなかで日々を過ごす人もいた三月十三日、M.L.上で「ライフレイン」が復旧したら、プレーパークを早く再開させたい」という声があがり始めました。買出しの長い列にならぶ生活のなか、メンバーの安全を確認し、阪神淡路大震災時の支援経験を持つ「日本冒険遊び場づくり協会」@東京への問い合わせを行いました。また三月二十日、動きがとれた母親たちを中心に西公園の現状を確認するなど、再開に向けて動き出しました。そして四回の遊ぼう会を開催したのち、青葉区公園課への申請も整い、四月十日に

た子どもたちが「やっと始まったのかよー」と集まってきて、「やっついて良かったー」と乳幼児親子の笑顔も見られました。市街地は被害も少なく復旧も早かったけれど、あの大きな地震を体験した親や子どもは落ち着かないまま。だからこそ、「いつもの場所です」というように遊ぶことが、日常を取り戻すことが、とても大事だったのだと思います。



▲ロープで思いっきり遊ぼう

石巻河北地区
亀が森公園で遊んでみよう会

四月十九日、石巻市河北地区で被災した会員の阿部正樹さんから「自分の住む町で避難生活を送る子ども、地域に住む子どものために遊び場をつくりたい」と声があがりました。それに応えたいのが会員歴の浅い若いメンバーたち。五月八日に視察へ行き、阿部さんが子ども時代に遊んでいたという、八幡神社の境内に隣接する「亀が森公園」での開催を決定。まず「子どもの遊び環境学習会」を実施して、被災地で子どもの遊びに関わる大人の役割を考えました。六月には公園の草刈りなど、地元の方と一緒に公園を整備して一回目の「亀が森公園で遊んでみよう会」を行いました。七月から十二月までの六ヶ月間、毎月一回開催。

少しの道具と大自然のなかで、思い切り遊んだ子どもたち。その笑顔は輝いていました。阿部さんは、子どもの「遊んでみよう会」ってしつこいんだね」「一回きりだと思ってた。しつこくてよかった」という言葉が印象に残っているそうです。

すべての子どもに遊びを

今回私たちを助けてくれたのは、震災前に大切に築いてきた「人とのつながり」でした。顔が見えるつながりが、私たちの心を助け、私たちをつなぎ、子ども達にいつもと変わらない日常（遊び）を取り戻すための力をくれました。

震災後も変わりません。立場を越えてつながり、地域のなかにある「プレーパーク」をたくさんの方の手で育てていきます。小さい歩みかもしれませんが、けれど自分たちの意志で、自分たちの足で一歩一歩確実に、前へ進み続けて行きます。

子どもには遊びのなかで自分を癒す力があると信じて、「すべての子どもに遊びを！」

一緒にやってみないな！と思っただ方、お問い合わせください。

西公園プレーパークの会
●専用TEL/090-7562-6154
●E-mail kurobe_s@nifty.com
●URL
http://homepage1.nifty.com/KUROBE/

NPOのうまい会議の進め方 ファシリテーショングラフィックのポイント



▼講師の奥田太郎さん



これが目に見え、状態に保つこと、議論が噛み合います。

話し合いの流れを参加者に見るように、書いて記録することです。通常の話し合いでは、言葉は究した途端に消えてしまいます。時間が経つと参加者は発言内容を忘れてしまふため、「言った」「言わな

話し合いの流れを参加者に見るように、書いて記録することです。通常の話し合いでは、言葉は究した途端に消えてしまいます。時間が経つと参加者は発言内容を忘れてしまふため、「言った」「言わな

NPOの運営に、会議や打ち合わせなどの話し合いは必要不可欠です。しかし「話しているうちに本筋から外れる」「スムーズに進まない、決めるべきことが決まらない」など、悩みを抱える団体も多いのではないのでしょうか。そこで会議をうまく進めるための手法のひとつであるファシリテーショングラフィックを学ぼうと、二月十五日に講座を開催しました。講師は(特活)日本ファシリテーション協会会長の徳田太郎さんです。

ファシリテーショングラフィックとは?

書き方のポイント

話し合いの進行に合わせて、出された意見や議論の流れを、文字や矢印、図や絵などを使って書いていきます。このとき言葉を要約しすぎると、読み返した時に意味が分からなくなるので注意します(例:「会員数」ではなく「会員数を倍増」)。話し合いのスピードが追いつかない時は、話し合いを一時ストップさせることもポイントです。

ホワイトボードや模造紙などを参加者全員から見える場所に設置し、ペンを準備します。書きときのポイントは3つあります。①皆の見えるところに書く ②皆に見えるように書く ③リアルタイムで(同時進行で)書く

なり、ものごとが決まりやすくなるのです。また会議では「何を言ったか」よりも「誰が言ったか」が影響力を持つことがあります。書き出すことで発言者と発言内容が切り離され、意見自体に焦点が当たりやすくなるという効果もあります。

会議を効果的にすすめるコツ



▲参加者も実際に作成

「まずは一つ実行してみよう。ひとつずつ上手くいったら次にチャレンジして」と、欲張らず進めていくと良いですよ」とは徳田先生からのアドバイスです。成果の上がる会議に生まれ変わるため、次の会議からチャレンジしてみませんか?

①「今何を話し合うべきか」をタイトルとして見るところに書いておく ②持ち時間・時間配分を書いておくことが、効果的です。これによって参加者が認識を共有することができ、会議の効率化と質の向上に繋がります。タイトルは「店舗の移転計画」などの抽象的なものではなく、「どんな立地条件のところに移転するか」のように具体的な言葉にしましょう。

● NPO法人の設立を新しく申請した団体			2012年1月11日～2月10日申請分	
団体名	所在地	活動内容	受理日	
ベビースマイル石巻	石巻市	妊婦から産後育児の親子に対する子育て支援事業	1/11	
子育て支援アシストエフワン	仙台市青葉区	子育て世代への子育て全般に関する支援事業	1/12	
障がい	多摩市	障害者に対する障がい者就業支援事業	1/12	
県日本大産科医療連携おむつ	仙台市青葉区	県日本大産科医療連携おむつ製造事業	1/13	
親の子	石巻市	障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス事業	1/17	
東北外科病院研究推進機構 NEXTSURG	仙台市青葉区	外科臨床研究の立案・実施を通じた臨床研究の普及事業	1/18	
株式会社	名取市	自殺予防及び虐待被害者に対する心のケア事業	1/19	
みやぎ子ども教育支援の会	石巻市	宮城県内の子ども達に対する小規模な施設児童養育事業	1/23	
日本調理学協会	仙台市青葉区	県日本大産科医療連携おむつ製造事業	1/30	
助産士会みやぎ	仙台市宮城野区	地域の助産師の増進活動	1/31	
石巻地産物産協会の会	石巻市	外国人労働者受け入れ支援事業	1/31	
在日留學生協会	仙台市青葉区	国際協力、国際文化交流、生活支援に関する事業	2/1	
いるほの森	仙台市青葉区	高齢者・障害者の環境改善事業、青少年の社会教育事業	2/2	
らんらん保育園	塩釜市	障がい児及び高齢者等に対するウォーキング及びジョギング支援事業	2/6	
● NPO法人に認証された団体			2012年1月11日～2月10日申請分	
団体名	所在地	活動内容	認証日	
BAROQUE WORKS	気仙沼市	地域連携の発展を促す活動等	1/11	
とまタウンネット	気仙沼市	地元産物の育成や学校、福祉の促進、市民との連携促進、NPO等の活動支援に関する事業等	1/13	
産地産くらしの共生福祉互助会	亶理郡亶理町	障害者福祉サービス事業、共同生活介護事業、生活支援事業等	1/13	
築-ステーション	仙台市宮城野区	生産者及び消費者の増進活動	1/17	
JET O(ジェット)みやぎ	仙台市宮城野区	農産物販売に対する協賛事業	1/26	
生活支援プロジェクトK	気仙沼市	応急仮設住宅及び被災地における生活支援事業	2/2	
おおさきエフエム放送	大崎市	おおさきエフエム放送の開局及び運営管理	2/6	

宮城県の
NPO法人数

619

団体

2012年2月10日
現在数

※前数、所轄庁変更、認証取消、撤回した団体を除く。

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

<http://www.niyagi-npo.gr.jp>

みやぎNPOプラザ 〒983-0851 仙台市宮城野区櫛ヶ岡5
TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533
E-mail:npo@niyagi-npo.gr.jp

2012年度 みやぎNPO夢ファンド

個別応募相談会(要予約)も開催します。詳細はInformationページ(P.13)をご覧ください。

- プログラム:A)ステップアップ支援プログラム
県内のモデルケースへの発展が期待される非常に公益性の高い事業
- B)組織開発(人材育成を含む)支援プログラム
組織づくりや人材育成・情報発信の体制の強化
- C)スタートアップ支援プログラム
新規事業の立ち上げや、これから活動を始めるNPO
- 対象団体:営利を目的とせず、公益的・社会的な活動を継続的に行う宮城県内のNPO
※法人格の有無は不問、活動対象が県外(外国等)であっても応募可能
- 助成金額:A)100万円 B)30万円以内(下限20万円)
C)30万円以内(下限15万円)
※A)3団体、B)C)合わせて8団体程度に助成
- 助成期間:平成25年3月末までに終了する事業
- 募集締切:A)3月13日(火)、B)C)4月12日(木) 共に必着
- 連絡先:みやぎNPO夢ファンド事務局
(特活)せんだい・みやぎNPOセンター内
〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル4階
TEL:022-264-1281 FAX:022-264-1209
E-mail:minmin@minmin.org

2012年度(第10回)

ドコモ市民活動団体への助成

- 助成対象:「子どもを守る」をテーマに子どもたちの健やかな育ちを応援する活動
- 対象団体:日本国内に活動拠点を有する民間の非営利活動団体でNPO法人などの法人格を有する、または取得申請中の団体(7月までに登録完了見込み)
・活動実績が2年以上である団体(法人格を有する以前の活動実績を含む)
・複数のNPOが連携した協働事業で、地域の中間支援組織が代表申請団体となる場合は、その協働グループ
- 助成金額:1団体あたり50万円を標準とし、最高200万円(総額2,500万円予定)
※採用基準に満たなくとも、将来性・可能性などに期待が持てる場合、標準額の半額程度を「活動奨励金」として助成する場合があります
- 助成期間:2012年10月1日～2013年9月30日に実施する活動
- 募集締切:3月30日(金)必着
- 連絡先:(特活)モバイル・コミュニケーション・ファンド
〒100-6150 東京都千代田区永田町2-11-1
山王パークタワー29階
TEL:03-3509-7651 FAX:03-3509-7655
E-mail:info@mcfund.or.jp

平成24年度 東日本大震災復興助成金

- 助成対象:国内において社会福祉事業を行う民間の非営利法人が実施する案件で、東日本大震災により、設備・機器・車両・家屋等が損傷し、活動に支障をきたしていること
※法人でなくとも、3年以上の継続的な活動実績があり、組織的な活動を行っている団体は対象とする
※震災による被害が甚大で、緊急性が高いものを優先
- 助成金額:上限500万円(総額約3億円)
- 募集締切:3月31日(土)消印有効
- 連絡先:社会福祉法人 丸紅基金
〒100-8088 東京都千代田区大手町1-4-2 丸紅ビル12階
TEL:03-3282-7591、03-3282-7592
FAX:03-3282-9541 E-mail:mkikin@marubeni.com

LUSHチャリティバンク (東日本大震災復興支援)

- 助成対象:東日本大震災における被災地の復興支援活動、被災された方たちへの支援活動
- 対象団体:国内に事務局機能があり、上記の活動実績がある団体(法人格の有無は不問)
・複数の団体によるプロジェクト
・年間予算が1億円以下の小規模の団体を優先(年間予算は目安、活動内容を重視します)
※要件の詳細はHPをご確認ください
- 助成金額:10万円～200万円
※チャリティ商品の売り上げにより変動の可能性あり
- 助成期間:最長1年間(継続支援も可能)
- 募集締切:毎月月末 消印有効
- 連絡先:株式会社ラッシュジャパン チャリティポット係
〒108-0075 東京都港区港南2-4-15 品川サンケイビル4階
TEL:03-5781-9567 E-mail:charity@lush.co.jp

東日本大震災現地NPO応援基金 第2期

- 助成対象:被災者の生活再建を支援する現地の組織基盤強化の取り組み(NPOの人的基盤、財政的基盤、情報基盤など運営基盤の整備)に必要な人件費等を資金支援
- 対象団体:1)岩手県、宮城県、福島県において直接被災者の生活再建を支援する「現地NPO」
2)上記(1)の活動を行う団体の「現地ネットワーク組織」または「現地中間支援組織」
※「現地NPO」とは、上記被災3県のいずれかで、直接被災者の生活再建の支援に取り組むNPOで、各地域の市民が自発的に活動する民間非営利団体。草の根の小さな団体を含み、法人格の有無や種類は不問
- 助成金額:1件当たり500万円以内(1回の選考での助成総額は概ね2,500万円)
- 助成期間:応募日に応じて、7月、10月初日から1年間以内
- 募集締切:2011年11月1日(火)～2012年8月31日(金)までの期間、随時受付
※第3回助成(2012年7月～)分の締切は、2012年4月末となります
- 連絡先:(特活)市民社会創造ファンド
〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1
新大手町ビル267-B
TEL:03-3510-1221
E-mail:ksakamoto@civifund.org

平成24年度 街なか再生助成金

- 助成対象:街なかの再生に寄与する、市街地整備を推進する初期の取り組みや街の新たな魅力・可能性の発掘、資源(歴史的建造物等)の活用等に関する検討・活動等
※要件の詳細は募集要項をご覧ください
- 対象団体:主にまちづくり寄与する活動・運動・事業を行っている準備組合、勉強会、協議会、特定非営利活動法人、中心市街地活性化協議会(法に定めるもの)、まちづくり会社等
※全国を対象としているグループは対象になりません
- 助成金額:1件あたり限度額100万円(4～5件程度)
- 募集締切:3月31日(土)消印有効
- 連絡先:財団法人 区画整理促進機構
街なか再生全国支援センター
〒102-0084 東京都千代田区二番町12番地12 B.D.A.
二番町ビル2階
TEL:03-3230-8477 FAX:03-3230-4514
E-mail:mail@sokusin.or.jp

3/24 **大震災で親を失った子どもたちのために**
～子どもと家庭を支えるネットワーク
と連携をめざして～

- 日 時:3月24日(土) 13:00~16:30
- 場 所:宮城県行政庁舎2階 講堂(仙台市青葉区本町3-8-1)
- 内 容:**【第一部】**
 ★講演1「大震災と子どもの心のケア」
 講師:本間博彰氏(宮城県子ども総合センター 所長、児童精神科医)
 ★講演2「わが国の社会的養護の課題と将来像」
 講師:柏女霊峰氏(淑徳大学教授、厚生労働省 社会保障審議会社会的養護専門委員会委員長)
 ★報告「親族里親とともにすすめる親を失った子どもへの支援」
 講師:ト蔵康行氏(宮城県里親連合会会長、日本ファミリーホーム協議会会長)
【第二部】
 ★トークセッション「本間博彰×柏女霊峰 ×ト蔵康行×藤林武史」
【交流会】※参加費:3,000円
- 参加費:無料
- 託児:事前申込み
- 申込方法:所定の申込書に記入の上、東北・SOS子どもの村情報センターまでFAXにて申込
- 主催:宮城県里親連合会、(特活)子どもの村福岡、宮城県
- 連絡先:東北・SOS子どもの村情報センター
 TEL:022-748-6936 FAX:022-748-6931
 E-mail:cvinfo@cv-f.org
 (特活)子どもの村福岡
 TEL:092-737-8655 FAX:092-737-8665
 E-mail:fukuoka@cv-f.org

3/25 4/29 **東日本大震災で大切な方を**
亡くされた方のためのささえあいの会

想いを話すことを中心に、語りあい、わかちあい、ささえあう場所です。

- 日 時:3月25日(日)、4月29日(日) 各回13:00~15:00
- 場 所:仙台市福祉プラザ10階
- 申込方法:不要
- 主催:社会福祉法人 仙台いのちの電話
- 連絡先:〒981-8691 郵便事業(株)仙台北支店私書箱26号
 TEL:022-718-4401 FAX:022-718-4431
 URL:http://www6.ocn.ne.jp/~sen/

3/25 3/30 **冬のくりこま高原冒険キャンプ2012**
春休みは栗駒山でスノーキャンプ!

熱い仲間たちと一緒に冬の大自然へ出発しよう!

- 日 時:3月25日(日)~3月30日(金) 5泊6日

- 場 所:くりこま高原自然学校、栗駒山城
- 内 容:★スノートレッキング ★イグルーづくり
 ★雪中泊(イグルー・テント) ★雪上ゲーム大会
 ★キャンドルナイト その他
 ※プログラムは天候等により変更になることがあります。
- 対象:小学4年生~中学生
- 定員:18名(定員になり次第締切)
- 参加費:30,000円(プログラム体験指導料・食費・材料費・温泉入浴代)
 ※当団体が加入する野外活動保険が適応されます
- 主催:(特活)くりこま高原・地球の暮らしと自然教育研究所
- 連絡先:〒989-5371 栗原市栗駒沼倉耕英中74-1
 TEL:0228-46-2626 FAX:0228-46-2626
 URL:http://kurikomans.com/index.html

第2・第4 **土曜日** **フラワーボランティア養成講座(初級)**

「花でコミュニケーション」を理念に、フラワーセラピーを学び、花の専門ボランティア・フラワーセラピストを目指します。

- 日 時:第2・4土曜日
 (6ヶ月間で12回、初講は4月14日(土)予定)
- 場 所:みやぎNPOプラザ(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 受講費:21,000円(12単位) ※花材費は別途要
- 申込方法:下記連絡先までお問い合わせください
- 主催:フラワーセラピー研究会 仙台
- 連絡先:TEL:090-5847-6179(担当:松原)

4/15 **GO!GO!89ERS!!**
ECOスクール お花のよせ鉢を作ろう!

ホームゲーム会場で親子一緒に“ECO体験”をしてから、試合観戦を楽しむことができるプログラムをご用意! 仙台89ERSが取り組んでいる環境活動が体験できます。

- 日 時:4月15日(日)
 ECOスクール 10:50~16:30
 試合開始 14:00~ vs.岩手ビッグブルズ
- 集合場所:仙台市体育館内 関係者受付前
- 内 容:環境に配慮した有機質肥料の“無限”でお花のよせ鉢を作ります
- 対象:小学生と保護者のペア
- 定員:15組
- 参加費:ペアの料金/チケット付き3,000円(2F指定席)、チケットなし1,000円
- 申込方法:氏名、生年月日、性別、連絡先を明記の上、下記連絡先まで申込※保険をかけるために使用します
- 申込締切:3月30日(金)
- 主催:財団法人みやぎ・環境とくらしネットワーク(MELON) 株式会社ウジエクリンサービス、株式会社スポーツリンク
- 連絡先:株式会社スポーツリンク
 TEL:022-215-8138 FAX:022-212-7681
 URL:http://www.89ers.jp

情報をお待ちしています

- 申込方法:問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **郵送は無料です!**
- 締切:毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで、※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人社の伝言板ゆるる
 〒983-0852 仙台市宮城野区榴ヶ岡3-11-6 コーポラス島田B6
 TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327
 e-mail:npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト
「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人社の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。お問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jp まで

寒くない格好で参加ください

- 申込締切:各実施日1週間前
- 主催:(特活)DoTankみやぎ
- 連絡先:TEL:080-3198-4889(遠藤)
E-mail:je981002@cocoa.ocn.ne.jp

3/17 授業などに活用できる 開発教育ワークショップ体験会

ゲームや身体を使った活動(ワークショップ)を通じて、世界共通の課題について「知り・考え・行動する」ことをまなぶ参加型学習です。留学生等外国人の方も交え、実際にワークショップを体験します。

- 日時:3月17日(土) 10:00~16:00
- 場所:仙台国際センター1F 交流コーナー内 研修室
- 講師:西あい氏(特活)開発教育協会/DEAR事務局次長)
阿部眞理子氏(特活)国際ボランティアセンター山形/IVY)
- 内容:A)世界がもし100人の村だったら
世界の格差や多様性を体験的に知るワーク
B)地球の食卓/世界の多様性の素晴らしさ
を感じるフォトランゲージの基本を体験
C)パンガ/簡単なトランプゲームを通して、
多文化共生の必要性、難しさなどを体験
D)ワールドカフェ/設定したテーマに関し
て、自由にテーブルを移動しながら意見交換
- 対象:主に仙台市内に住む教育関係者、市民センター職員、学生、市民団体など、開発教育・国際理解教育に興味のある方ならどなたでも
- 定員:80名程度
- 申込方法:氏名(ふりがな)、所属、電話番号、メールアドレス、参加希望プログラムを明記の上、FAX、メールにて申込
☆参加希望プログラム
(1)参加希望を記入
「1日参加」、「午前のみ」、「午後のみ」
(2)1日参加または、午後のみ参加の方は、以下より希望のワークショップを選択
「地球の食卓」、または「パンガ」
- 主催:財団法人仙台国際交流協会
- 連絡先:TEL:022-265-2480 FAX:022-265-2485
E-mail:taguchi@sira.or.jp

3/18 健康講座No.29 私の健康エコライフ

- 日時:3月18日(日) 13:30~14:50
- 場所:みやぎNPOプラザ 第2会議室(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 講師:太田重雄氏(健康管理士)
- 対象:健康づくりに関心のある方、老若男女を問わずどなたでも
- 参加費:300円(当日受付にて支払い)
- 主催:(特活)宮城県健康管理士会
- 連絡先:(代表:太田)TEL:022-281-2388 FAX:022-281-0827

3/21 メディアデザイン新デザイン講座 市民のためのデザインレイアウト講座

市民の情報発信に必要なチラシ、パンフレットなど印刷物のデザイン・レイアウトの基礎を分かりやすく教えます。実践的・具体的に進め、制作上の悩み事や困った事を解決するための手段も一緒に考えていきます。

- 日時:3月21日(水) 19:00~20:30
- 場所:仙台市市民活動サポートセンター 研修室2
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 講師:真山正太氏(グラフィックデザイナー)
- 参加費:1,000円
- 定員:15名(申込先着順)

- 主催:NPOメディアデザインサポート
- 連絡先:〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-1-11朝日プラザ北一番丁1階
TEL:090-3049-0613(担当:千葉)
FAX:022-224-5308
E-mail:npo@md-sendai.com
URL:http://www.md-sendai.com

3/21 早春の定義如来 ~熊ヶ根(ふるさと緑の道)を歩こう

昨年の3.11から1年が過ぎました。再び災害が起きないように定義如来にお参りして、早春の林道を歩きましょう。歩いた後は「ニッカウキスキー」に寄り、工場見学と試飲をします。

- 日時:3月21日(水) ※小雨決行
- 集合:仙台駅スタンドグラス前 8:15
- 内容:定義・林道入口、青下滑沢橋、大手門、水道記念館、ニッカウキスキー仙台工場
- 持ち物:歩きやすく寒くない服装、帽子、水筒、タオル、昼食、雨具、保険証、現金、ユースホステル会員証 等
- 参加費:一般4,700円(交通、保険代等)
ユースホステル会員4,500円
- 申込方法:行事名、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記の上、所定の申込用紙、電話、ハガキ、FAX、メールにて申込
- 申込締切:3月15日(木) 必着
※締切以降のキャンセルは、キャンセル料として3,000円、3月18日(日)以降のキャンセルは全額頂戴致します
- 主催:宮城県ユースホステル協会
- 連絡先:〒983-0836 仙台市宮城野区幸町4-5-1
(財)宮城県青年会館内
TEL/FAX:022-295-1482
E-mail:myh@jn3.so-net.ne.jp

3/22 NPOのための会計・税務相談

日々の会計業務から決算書作成や税金のことなど、NPO会計に詳しい税理士が、ご相談をお受けします。

- 日時:3月22日(木) 13:00~17:00
- 場所:みやぎNPOプラザ
- 定員:3団体(先着順)
※要予約。相談時間は1団体約1時間
- 主催:宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先:みやぎNPOプラザ(連絡先はP6をご覧ください)

3/24 第7回 百年前の古地図で歩く仙台さんぽ

歩いて、見て、学んだあとは、お茶っこ飲みながらみんなで語り合い。充実した楽しい時間をお過ごしください。

- 内容:3月24日(土) 13:30~15:30
- 場所:八幡町
- 講師:狩野栄喜氏(仙台市歴史観光ガイドボランティアの会代表)
- 参加資格:おおむね60歳以上の方
- 募集人員:10数名(先着順)
- 参加費:1,500円(お茶・菓子つき)
- 申込方法:往復はがきで事務局まで申込。実施日1週間前までに返信します。
集合場所・時間等ご確認ください
- 申込締切:3月10日(土) 必着
- 主催:(特活)20世紀アーカイブ仙台
- 連絡先:〒983-0021 仙台市宮城野区田子1-11-2 CLIPビル2階
TEL:022-387-0656 FAX:022-387-0651
URL:http://www.d2.dion.ne.jp/~clip/20thcas.html/

- 連絡先: せんだいメディアテーク 企画・活動支援室
〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
TEL:022-713-4483 FAX:022-713-4482
E-mail:office@smt.city.sendai.jp
URL:http://www.smt.jp/

3/11 仙台ピアカウンセリングの集い

大震災であなたの心は折れそうになっていませんか?こんな時だからこそ話し合える仲間が必要なんです!仲間と共に力強く新しい人生(回復と生活の再建)に出発しませんか?

- 日時: 3月11日(日) 14:00~16:00
- 場所: 仙台市福祉プラザ10階
第4研修室(仙台市青葉区五橋2-12-2)
- 対象: 精神障害当事者、健常者であっても今回の大地震で心が痛み悩んでいる方、及び家族に限定(タイプB型例会クローズ方式)
- 内容: ひたすら体験を語り、又聴くことを通して精神疾患からの回復を目指す自助グループの集い
- 定員: 20名(予約制)
- 参加費: 無料
- 申込方法: 下記連絡先まで電話、メールにて申込
- 主催: 仙台心のケア研究会
- 後援: 仙台市精神保健福祉総合センター(はあとぼーと仙台)
- 連絡先: TEL:080-3328-7186
E-mail:qqw59pc9k@star.ocn.ne.jp

3/11 安全・安心なお産のために

安全な妊娠、出産へ向けて、私たちが出来ることをご講演頂きます。日ごろの不安や疑問を解決できるでしょう。

- 日時: 3月11日(日) 13:00~(開場12:30)
- 場所: エル・ソーラ仙台28階 大研修室
- 内容: ★「安全・安心なお産のために」
講師: 太田恭子氏(仙台赤十字病院産婦人科)
★「子育てはふたりで」
講師: 新田みつ子氏(一般社団法人宮城県助産師会会長)
★「妊産婦さまに優しい骨盤体操」
講師: 山口之雪氏(助産院カイロLight Snow)
★「助産師の得意技伝授します」
- 対象: マタニティさま、ご主人さま、祖母・祖父さま、お子様連れ歓迎 ※咳、熱など症状のある方はご遠慮ください
- 申込方法: 氏名、住所、電話番号を明記の上、電話・FAX・メールにて申込
- 主催: 一般社団法人宮城県助産師会
- 連絡先: 〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野2-7-48-101
TEL:022-297-1551(月・水・金曜日10:00~16:00)
FAX:022-349-8377 E-mail:siensenter@gmail.com

3/12 3/14 NPOの新しい会計基準を学ぼう! NPO法人会計基準研修会

NPO法が改正され、会計書類が「収支計算書」から「活動計算書」に変更になりました。会計処理の理解を深める研修会を実施します。

- 日時: 大河原市 3月12日(月)
場所: 宮城県大河原合同庁舎
石巻市 3月14日(水)
場所: 石巻市合同庁舎保健所棟(別棟) 102・103会議室
各会場とも13:00~16:30
- 講師: 成田由加里氏(成田由加里公認会計士事務所代表、公認会計士、税理士)
- 内容: ★NPO法人会計基準の概要について

★収支計算書と活動計算書の違いは?
★注記とは? ★決算書作成ワークショップ

- 対象: NPOの会計担当者及び役員等
- 参加費: 無料
- 申込方法: 所定の申込用紙に記入の上、下記連絡先まで申込用紙は下記HPからダウンロード可能です
- 主催: 宮城県
- 企画・実施: (特活)杜の伝言板ゆるる
- 連絡先: (特活)杜の伝言板ゆるる(連絡先は、裏表紙をご覧ください)

3/13 親業セミナー「子どもにどう向き合う?」 ~親と子のコミュニケーションを より良くするには~

このセミナーでは、親と子のコミュニケーションをより良くし、子どもの考える力を伸ばす「ゴードン博士の親業」の方法を紹介します。

- 日時: 3月13日(火) 10:00~11:45
※月1回開催しています
- 場所: エル・パーク仙台 141ビル5F
- 講師: 石田えみ子氏(PETフォーラム代表、親業訓練シニアインストラクター)
- 参加費: 500円
- 主催: PETフォーラム
- 連絡先: TEL/FAX:022-281-0858
URL:http://www.k3.dion.ne.jp/~smile55/index.html

3/16 NPOのための会計・税務講座(6) これではっちり! NPO法人の会計監査

NPO法人にとって、会計処理が正しく行われていることは、支援の輪を広げるチャンスになります。「監査チェックリスト」を基に、監事の役割やスムーズな監査の方法を学びましょう。

- 日時: 3月16日(金) 13:00~16:00
- 場所: みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 講師: 橋本潤子氏(公認会計士、(特活)せんだい杜の子ども劇場理事)
- 対象: NPOの会計担当者や理事、監事など
- 定員: 20名(申込先着順)
- 参加費: 1,000円
- 主催: 宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施: (特活)杜の伝言板ゆるる
- 連絡先: みやぎNPOプラザ(連絡先はP6をご覧ください)

3/17 3/20 3/24 体験漁業in雄勝 参加者募集!

震災により人口が減少した、石巻市雄勝地区の水産業復興事業の一環として、将来ある人材に少しでも関心を持ってもらい、未来の漁業を支える人材を育成支援する活動です。

- 日時: 3月17日(土)、20日(火)、24日(土) 10:00~
上記日程のうち希望する日にち
- 場所: 石巻市雄勝町小島 OHガッツ共同作業所
(石巻市雄勝町小島字和田2-1 プレハブ周辺)
※10名以上の参加の場合、石巻駅から無料でバス等をチャーターします
- 内容: ★かき養殖 ★わかめ釣り ★ロープワーク
上記内容からひとつを選択+雄勝の自然、漁業についての講話(全体で所要時間2時間程度)
- 対象: 小学生・中学生・高校生5名以上の団体
親子・学校単位での参加も可
- 定員: 各回50名 ※5名に満たない場合は中止します
- 参加費: 無料(昼食を希望される場合は500円、要事前申込)
- 持ち物: 長靴、必要な方は着替えなど

- 内 容: ★アウトドア企画のお手伝い
★実施に当たっては、必要に応じた当メンバーの派遣や各団体のスタッフ指導や、共催事業も可能
- 費 用: 相談は無料、派遣や共催などの実費経費は別途相談
- 申込方法: 下記連絡先までお問い合わせください
- 募集主体: **NPO東北アウトドア情報センター(TOI)**
〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
みやぎNPOプラザレターケースNo.25
TEL:090-8616-1397(代表・八嶋)
E-mail:LDW00510@nifty.com
URL:http://www8.ocn.ne.jp/~toi

イベント

NPOのための法人設立・団体運営相談

NPO法人の設立に関わることやNPOの運営について、お気軽にご相談ください。

- 日 時: 毎週水曜日 13:00~17:00
- 場 所: みやぎNPOプラザ
- 定 員: 3団体(先着順)※要予約。相談時間は1団体約1時間。
- 主 催: 宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連 絡 先: みやぎNPOプラザ(連絡先はP6をご覧ください)

3/6 3/27 3/29 4/3 みやぎNPO夢ファンド 応募相談会

みやぎNPO夢ファンド申請についての個別応募相談会を開催します。特にNPO情報ライブラリー未登録の団体や、初めて応募する団体はなるべく応募相談会にお越しください。
※平成24年度みやぎNPO夢ファンド募集については、9ページをご覧ください。

- 日 時: (A)ステップアップ支援 3月6日(火)
(B)組織開発(人材育成を含む)支援、(C)スタートアップ支援 3月27日(火)、3月29日(木)、4月3日(火)
全日10:00~12:00、14:00~17:00(1団体50分以内)
- 場 所: みやぎNPO夢ファンド事務局
- 申込方法: 予約制。下記連絡先までお問い合わせください
※なるべく事前に申請書に記入してご持参ください
- 主 催: みやぎNPO夢ファンド事務局
- 連 絡 先: 〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27
岡元ビル4階
(特活)せんだい・みやぎNPOセンター内
TEL:022-264-1281 FAX:022-264-1209
E-mail: minmin@minmin.org
URL: http://www.minmin.org/sss/

3/10 鎮魂の夕べ~みんなにありがとう~

震災からもうすぐ1年が経とうとしています。3月11日は多くの追悼慰霊行事が企画されていますが、我々も犠牲者の方々の弔う鎮魂の夕べの開催を予定しております。

- 日 時: 3月10日(土) 16:00~20:00
- 場 所: 石巻駅前にぎわい交流ひろば
- 内 容: 光と音楽のパフォーマンス、ライブ、詩の朗読、ゴスペルほか
- 主 催: (特活)いしのまきNPOセンター
- 連 絡 先: 〒986-0832 石巻市泉町3-1-63
石巻市NPO支援オフィス内
TEL:0225-23-0851

3/10 龍村仁監督作品「地球交響曲—第七番—」 上映会+トークショー

あまりにも沢山のことが起こった2011年。当初の計画から1年ず

れこんでの開催となりましたが、今だからこそ…の意味もきつとあるのだと思います。

- 日 時: 3月10日(土) 13:30~17:30(開場12:45)
- 場 所: 栗原市若柳総合文化センター(ドリーム・パル)大ホール(栗原市若柳字川北古川83)
- 内 容: ★上映会
地球交響曲~ガイアシンフォニー~ 第七番
★トークショー「生きている、生きてゆく。」
出演者: 龍村仁氏(「地球交響曲」監督、有限会社龍村仁事務所代表)
高野孝子氏(冒険家、(特活)ECOPLUS代表理事)
- 参加費: 2,000円(親子室あり(要予約))
- チケット販売店: 栗原市: カントリーストア(築館)・KING(若柳) 登米市: モスバーガー佐沼店(迫町)・CAFEGATI(登米町) 大崎市: クラブト木村(古川)(TEL:0229-23-7211)
※郵送をご希望の方は上記電話番号までお問い合わせください
※2011年3月19日の上映会チケットも使用可能です
- 主 催: 登米・栗原ガイアネットワーク
- 共 催: くりこま高原自然学校・癒しの森
- 連 絡 先: 登米・栗原ガイアネットワーク
TEL:090-5830-4730(菱沼)
E-mail: gaiatomekuri@gmail.com

3/11 ウォーキングステーション再始動! 復興ウォーキング

平日グルメリランチウォーキングとノルディックウォーキング石巻も4月から再開します。

- 日 時: 3月11日(日) 9:30~
- 参加費: 1,500円(昼食代含む)
- 場 所: まちなかステーションマツムラ(9:00集合)
※公共交通機関での来場をお願いします
- 持 ち 物: 飲料水、タオル(歩きやすい靴・服装で参加ください)
※ゴミは各自お持ち帰りください
- 主 催: (特活)石巻スポーツ振興サポートセンター(まちなかステーションマツムラ)
- 連 絡 先: 〒986-0822 石巻市中央2-10-13
TEL:0225-95-2923 FAX:0225-95-2808

3/6 3/12 3/10 3/11 星空と路 3がつ11にちを わすれないために

せんだいメディアテークは、震災後に「3がつ11にちをわすれないためにセンター」を設置し、震災復興の過程を記録・発信してきました。今回、この1年を振り返る機会として開催します。

- 日 時: ・7階スタジオシアター 3月6日(火)~3月12日(月)
・1階オープンスクエア 3月10日(土)~11日(日)
・3・4階仙台市民図書館 仙台市民図書館の開館時間(火~金10:00~20:00、土日祝は~18:00)
- 場 所: せんだいメディアテーク
- 内 容: 【資料室(1階オープンスクエア)】
「3がつ11にちをわすれないためにセンター」や図書館に集められた諸資料の展示、いまでも続く活動の様子を紹介します。
【上映室(7階スタジオシアター)】
東日本大震災の映像記録を上映します(全30プログラム)
※音声解説の受信機貸出、託児サービスのある上映もあります
【図書室(3・4階仙台市民図書館)】
震災によって起こったさまざまな状況を落ち着いて考えていくための資料がたくさんあります
- 参加費: 無料(一部の映画上映は有料)
- 主 催: せんだいメディアテーク/仙台市民図書館

- 申込方法: 申込フォーム
(<http://usjapantomodachi.ayusajapan.org/index.html>)から申込
※選考結果は選抜された方へのみ連絡
- 申込締切: 4月16日(月) 郵送の場合は消印有効
- 主催: 米国非営利教育法人
アユサインターナショナル 日本事務局
- 連絡先: 〒105-0022 東京都港区海岸1-9-11
マリンクスタワー7階
TEL: 0120-955-320
URL: <http://usjapantomodachi.ayusajapan.org/>

事業案内

歩こう石巻まちなかステーションマツムラ

楽しく歩いて健康づくりしませんか? ノルディックウォーキングについてもご案内しておりますので、スタッフまでお気軽に聞いてください。

- 内容: 【常設コース】
★旧北上川河口 中瀬を中心とした景観と散策コース(10km)
★稲井石のふるさとと、伊達の穀倉・住吉探索コース(12km)
★旧北上川・貞山運河と金華山道コース(16km)
※3コース走破で記念品進呈
【月に1度のイベント】
★石巻の味方探訪「グルメランチウォーキング」(第2木曜日開催)
【シーズンイベント】
★ふるさと探検隊ウォーキング
★ノルディックウォーキング石巻ほか
- 申込方法: 下記連絡先までお問い合わせ下さい
- 主催: (特活)石巻スポーツ振興サポートセンター
- 共催: 石巻ウォーキング協会
- 連絡先: (特活)石巻スポーツ振興サポートセンター
〒986-0822 石巻市中央2-10-13
TEL: 0225-95-2923 FAX: 0225-95-2808
E-mail: info@i-support.or.jp

3.11キヨクのキヨク ~市民が撮った 3.11大震災 記憶の記録~

市民が「映し残さなければ」という思いで撮影された画像は、報道写真とは異なる視線で撮られた「ありのまま」の姿を伝えます。書籍化することでより多くの方々にご覧いただき、100年後も1000年後も「記憶遺産」として、3.11を後世に語り伝えていきます。

- 内容: A4変形横綴じ 約330ページ
★宮城県内(仙台市5区、13市町)震災画像
★画像提供者52名の震災体験談
★2011年3月11日以降の主なできごと
★宮城を襲った地震津波の歴史
★宮城県内津波浸水エリアマップ
- 予定価格: 2,100円(税込)
※代引き発送の場合: 2,750円
- 購入方法: 仙台市内主要書店、アマゾンまたは下記連絡先まで問合せ
- 企画・制作・発行: (特活)20世紀アーカイブ仙台
- 連絡先: 仙台市宮城野区田子1-11-2 CLIPビル2階
TEL: 022-387-0656 FAX: 022-387-0651
URL: <http://www.d2.dion.ne.jp/~clip/20thcas.html/>

子どもの一時預かり

子どもの一時預かり【青葉区 kid's space Piccolo Room(ピッココローム)】

- 場所: 仙台市青葉区本町2-14-26 保坂ビル403
- 利用時間: 8:30~18:30(時間外も相談に応じます)

子どもの一時預かり【宮城野区 託児スペースポルカ】

- 場所: 仙台市宮城野区幸町4-7-2
みやぎいのちと人権リソースセンター内
- 利用時間: 9:30~17:30(時間外も相談に応じます)

【共通事項】

- ※利用日3日前までに要予約。その後の予約は、相談の上決定
- 託児: 1時間700円
※最短2時間でお申し込みください。それ以降は30分単位の予約となります。
※東日本大震災でひとり親になった方、その他状況に応じて50%~100%の減免があります。登録時のヒアリングによって決定
- 利用年齢: おおむね6ヶ月以上小学生以下
- スタッフ: 有資格者を含む専門の研修を受けたスタッフ
- 登録申込: 下記連絡先までメール、またはFAXで「託児登録希望」、「託児所希望地」を書いてお送りください。登録案内を送ります。
- 主催: MIYAGI子どもと家庭支援プロジェクト
- 連絡先: 〒981-0954 仙台市青葉区川平1-16-5
スカイハイツ202
TEL/FAX: 022-279-2883 携帯: 070-5475-7819
E-mail: kodomo_katei_sien@yahoo.co.jp

安全なアウトドア企画のお手伝い、 スタッフ養成、共催

車椅子や障がいのある方、高齢者を対象とした「福祉登山」や「野山ウォーク」など、安全で楽しいアウトドアを開催し、経験あるスタッフも養成して来ましたが、安全を重視したアウトドア活動で得た知識・技術を基に、各団体の企画段階でのお手伝いをします。(詳細は当ホームページを参照。)

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2012.2.20現在) 敬称略

- 正会員41名
★仙台市 ●高浦 康有 ●平野 由紀子
- 賛助会員27名
★仙台市 ●藤原 範典 ★岩沼市 ●布田 幸子
- 情報会員72名
★仙台市 ●岡崎 トミ子 ●日下 富士夫
●齋藤 ツメ ●泉区福祉ガイドブック作成委員会
●みやぎ生協生活文化福祉文化活動事務局
- ★利府町 (特活)生活リハビリクラブきらら

会員募集

会員種別	年会費
個人正会員	10,000円
NPO正会員	10,000円
法人正会員	20,000円
個人・NPO賛助会員	5,000円
法人賛助会員	30,000円
情報会員	3,000円

郵便 口座番号 02250-0-43800

振替 加入者名 特定非営利活動法人 社の伝言板ゆるる (会員申込みの方は、添付欄に会員の種別をご記入下さい)

社の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営やそれに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊ゆるるは、市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

■会員には毎月「月刊ゆるる」が届きます

※正会員以外は、総会での議決権がありません

information

2月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア募集

被災した子ども、および経済的に余裕のない家庭の子どもたちの学習ボランティア募集

被災した子ども、および経済的に余裕のないご家庭の子どもに対して、人間関係づくりをベースとした、学習支援ボランティアを担ってくださる方を募集しています。

- 活動場所:【コミュニティ型学習支援センター】
日時:毎週火曜日～金曜日 19:00～20:30
場所:「19 Tsutsujigaoka」(仙台市榴ヶ岡5-3-21 コーポ小松101)
【仮設住宅集会所】
日時:毎週月曜日～木曜日 19:00～20:00
場所:(月)南小泉アパート(火)仙台港後背地6号公園(水)鶴巻一丁目東公園(木)荒井小学校用地
※現地までの交通費は全額お支払いいたします
- 活動内容:★マンツーマンに近い形での、学習サポート
対象:小学4年生～中学3年生の、数学(算数)・国語・英語
- 応募条件:・子どもと向き合い、子どもの成長と一緒に喜んでくださる高校生・大学生・社会人の方
・週1回以上参加できる方歓迎(毎週は難しいという方もご相談ください)
※河合塾との連携による研修会などを用意していますので、学習指導が未経験の方でも大丈夫です
- 申込方法:興味のある方は、直接団体までご連絡ください
説明会にご参加いただいた後、活動先をご相談させていただきます
- 主催:(特活)アスイク
- 連絡先:〒983-0852 仙台市宮城野区榴ヶ岡5-3-21-101
TEL:022-781-5576 FAX:022-781-5576
E-mail:asuiku0328@gmail.com
URL:http://asuiku.sendai-net.com/

有給スタッフ

障がいのある子どもたちの支援をしませんか

おり～ぶでは、未就学～高校生までの障がいのあるお子さんの支援を行っています。子どもたちと一緒に、楽しく活動してくれるパートスタッフを募集しています!!

- 活動日時:1)月～土曜日のうち週5日 8:00～19:00の間7h
2)月～土曜日のうち週4日 13:00～19:00の間4h
- 活動場所:下記のいずれか
・おり～ぶ上野山(太白区上野山1-11-1) ※7h、4h募集
・おり～ぶ五橋(青葉区五橋2-12-2) ※4h募集
・おり～ぶ荒町(若林区南鍛冶町70) ※7h募集
・おり～ぶ鉤取(太白区鉤取2-4-2) ※7h募集
- 活動内容:★未就学～高校生までの児童の身辺介助、療育支援、遊び相手
★おでかけやおはん作り、その他の行事参加
★車での送迎(8人乗り)
- 対象:年齢50才くらいまで
※要運転免許(マニュアルもできる方)

- ※保育士・ヘルパー2級資格持ってる方、大歓迎です
- 報酬:時給770円
- 交通費:上限月額20,000円(実費)
- 加入保険:7hの場合…社会保険、雇用保険、労災加入
4hの場合…労災加入
- 募集人数:若干名
- 募集団体:(社福)仙台市手をつなぐ育成会おり～ぶ
- 連絡先:おり～ぶ上野山(担当:渡辺)
仙台市太白区上野山1-11-1 上野山児童館内
TEL/FAX:022-743-3555

登録ヘルパーさん募集!

日本三景・松島湾内の離島(塩竈市)でああなたの資格をいかしてみませんか!
高齢化率の高い島でも安心して暮らせるよう支援活動を行っています。

- 活動内容:一人暮らし高齢者の見回り、生活補助、サロン活動の運営など(介護保険適用外の活動になります。適性に合わせてできる範囲で参加頂けます)
- 活動日時:月1でも、週1でも可能。
- 資格:ヘルパー2級以上
- 時給:1200円
- 交通費:船賃全額支給。お住まいから塩竈港までの交通費は距離により相談。
- 募集主体:(特活)浦戸福祉会
〒985-0192 塩竈市浦戸桂島字庵寺34
TEL:090-4360-0065(担当:村上)
E-mail:urato@gaku-com.jp
URL:http://ameblo.jp/npou-urato/

お知らせ

TOMODACHIサマー2012 ソフトバンク・リーダーシップ・プログラム

東日本大震災の被災地域の高校生を対象とし、全面的に支援するプログラムです。夏休みの3週間を利用して、カリフォルニア大学バークレー校でリーダーシップスキルと地域貢献について学びます。皆さんがグローバルな視点でリーダーシップスキルを習得することを目的としています。

- 日程:7月23日(月)～8月12日(日)
- 場所:アメリカ カリフォルニア州
- 内容:★リーダーシップスキル研修
★現地の方と一緒にボランティア活動
★シリコンバレーの企業で働く人たちから話を聞く
★英会話レッスン ★週末ホームステイ ★課外活動
- 対象:・プログラム参加時に高校生であること
・東日本大震災発生時に岩手県・宮城県・福島県に居住または在学していたことを証明できること(在学証明書、住民票または学生証のコピーのいずれか1つを後日提出)
・異文化環境に適用できる柔軟性と協調性があり、プログラムに積極的に取り組む意思があること
- 定員:最大300名
- 参加費:無料(全額スカラシップ(奨学金))
- 説明会:【仙台会場】3月中旬に予定
※詳しくはお問い合わせください



かほく「108」ファンド

かほく「108」クラブは、社会貢献活動の推進を目的として河北新報グループ11社と、そこに働く従業員で構成し、寄付を出し合って運営している任意団体です。

助成金の
申請を
受け付け
ます

テーマ
「子ども」

応募期間 3月1日(木)~3月31日(土)消印有効

対象団体 宮城県内で活動し、1年以上活動実績があり、活動は非営利、公益なものであること。(法人格の有無不問)

助成対象 「子ども」をテーマに、子どもにかかわる活動を展開している団体。
(例)「子どもの健全育成」「子育て支援活動」「いろいろな文化を通じた子どもの育成」など

助成金額 総額150万円
(1件上限20万円)

平成24年かほく
「108」ファンド受付開始
<http://blog.kahoku.co.jp/csr/>

連絡先

連絡先:かほく「108」クラブ事務局
〒980-8660 仙台市青葉区五橋1-2-28 河北新報社総務広報部内
TEL/022-211-1447 FAX/022-211-1448 E-mail:k108@po.kahoku.co.jp

ますます重くなる
「教育費」、
どうしますか?

宮城県・仙台市とろうきんの
提携による低利な融資の
ご案内!!



【宮城県・仙台市教育資金】のご案内

ご利用いただける方

住所が勤務先が宮城県内にある中小企業にお勤めの方。原則20歳以上で勤続年数及び居住年数が1年以上、前年税込み年収150万円以上の方。当金庫の審査基準を満たされる方。

お使いみち

- ①本人または被扶養者の高校以上の教育に要する費用
(入学金、授業料等の納付金、下宿代、書籍等の費用等)
- ②勤労者自身のスキルアップの費用 ③上記用途借入金の借換え費用

ご融資金額

最高300万円

ご融資金利

年1.85%(固定金利)

ご融資期間

最長10年(最長5年以内の元金据置期間含む)

担保・保証

担保は不要です。原則として、当金庫指定の保証機関をご利用いただけます。
保証料は別途必要(年0.7%~年1.2%)になりますが、保証料の補給が受けられる制度もございます。

お問い合わせは<東北ろうきん>宮城県内の最寄りの店舗へ

【東北ろうきん】ではお客様のニーズに合わせた様々な融資商品を取り揃えています。



toll-free



0120-1919-62

ホームページ <http://www.tohoku-rokin.or.jp>

2012年3月1日現在

行く行く ろうきんに